

市民公開講座

参加費
無料

予防・治療から社会復帰へのケア ～最近の進歩～

平成28年度 第3回 「高齢者と眼疾患」

日時：2016年10月30日(日) 13:30～15:30 (受付 13:00～)

会場：森ノ宮医療大学

基調講演

「高齢者と眼疾患—最近の話題—」

大阪府立急性期・総合医療センター

眼科主任部長 内堀 恭孝



高齢社会の到来とともに加齢性眼科疾患の日常生活への悪影響は重大です。白内障に対する小切開手術、緑内障の早期診断に有用な光干渉断層検査(OCT)、加齢黄斑変性や糖尿病黄斑症などに対する抗 VEGF 療法、増殖糖尿病網膜症や裂孔原性網膜剥離などに対する小切開硝子体手術など眼科診療の進歩について解説いたします。

講演 I

「高齢者の眼疾患とケア」

森ノ宮医療大学 保健医療学部

看護学科 教授 上西 洋子



高齢期の視力障害は、老視という加齢によるものや、白内障、緑内障といった眼科疾患などにより起こります。今回は視力・視野の変化について実際にどのように見えるのか疑似体験をしたあと、日常生活上の注意点などについて看護の視点からお話しさせていただきます。

講演 II

「眼精疲労と鍼灸」

森ノ宮医療大学 保健医療学部

鍼灸学科 講師 辻丸 泰永



高齢者の眼精疲労は単なる目の使い過ぎや老眼だけではなく、いろいろな目の疾患が原因で起こると言われています。今回、眼精疲労を東洋医学的にご説明し、眼精疲労に効果的なツボを紹介させていただきます。



司会

森ノ宮医療大学
学長 荻原 俊男



問合せ 森ノ宮医療大学 大学経営企画室

☎06-6616-6911(代)



大阪市営地下鉄中央線
コスモスクエア駅②番出口より
徒歩1分(南へ約90m)

先着 100 名

事前申込は不要です。
当日直接会場にお越しください。
(定員に達した場合は入場を締め切らせていただきますのでご了承ください。)



森ノ宮医療大学は、大阪府健康増進計画「すこやか大阪21」の趣旨に賛同し、「すこやかパートナー」として活動しています。

講演 III

「視力障がい者の支援」

森ノ宮医療大学 保健医療学部

作業療法学科 教授 小林 貴代



現在では、視力障がいに対する支援として、ICT (Information and Communication Technology: 情報通信技術) が身近な技術支援として、すでに多くの方の生活の中に活用されています。眼鏡や拡大鏡をはじめ、古き良き時代から活用されている道具に加えて、技術の進歩に伴いさまざまな機器が誕生しています。今回はリハビリテーション領域の作業療法士として、視覚障がいに対する支援機器をご紹介します。



想いのすべてを、医療の力に。

森ノ宮医療大学

[保健医療学部]

- 看護学科
- 作業療法学科
- 鍼灸学科

[大学院]

- 理学療法学科
 - 臨床検査学科
- 保健医療学研究科 保健医療学専攻 修士課程
[専攻科]
助産学専攻科 [1年課程]